

～河野先生からのメッセージ～



2014年大阪大学を定年退職してから、非常勤講師としてポルトガル語の授業を続けています。

また、1992年私が担当しましたNHK教育テレビ「ポルトガル語講座」をブラジル音楽関係の皆さんが見てくださったご縁で、多くのミュージシャンと交流させていただき、現在はポルトガル語で歌う方々の言葉の勉強もお手伝いしています。このたび古希を祝う会を卒業生である太田くん達が企画してくれました。私とご縁のある皆様と楽しい時間を共に過ごせたらと思います。どうぞ御参加ください。

～ボサノバライブ出演者～



おーたか ずお (Piano)
1995年大阪外国語大学ポルトガル語専攻卒業。ジャズピアニスト。ラジオ番組でDJも担当している。ポルトガル語を生かし、ジャズだけでなくブラジル音楽にも深く精通しているユニークなジャズピアニストとして関西を中心に活躍中。



高田靖子 (Vocal)
ボサノヴァ、オリジナルを中心に、様々なテイストの楽曲を独自のアレンジで歌う。2006年CD、ヴォセ「宇宙の法則・永遠の愛」発売。透明感溢れる歌声は、新鮮で、いつのまにかココロをうきうきさせる不思議な力を持っている。



カオリーニョ 藤原 (Guitar)
ギタリスト、コンポーザーとして、数々のアーティストのレコーディングに参加。独自の音楽スタイル演歌BOSSAを確立。人生の熱いメッセージ、お洒落なハーモニー、心地好いグルーブ感が渾然一体となったその表現は唯一無二。2度のヨーロッパツアーを行う。



石川まぎ (Piano)
ピアニスト、作編曲家として活躍し、箕面の自然を題材にした多くの優れた作品を発表。シンフォニー宙(そら)を編成し、コンサート活動等多方面に活躍。Tom Jobimの音楽を愛し、ブラジル音楽を愛する仲間たちとワークショップを主催。



Gabrielaな人たち
河野先生とピアニスト石川まぎの指導のもとブラジル音楽を研究し、ポルトガル語で歌う練習や演奏活動をするグループ。